



人口減少日本の21世紀自動車市場研究

販売不振を待ち受ける我が国人口減少のさらなる運命、産業界はこれをどう克服するか

■ 発刊：2008年3月 ■ 体裁：A4版、175頁 ■ 価格：120,000円+税 国内送料込



- ◇人口減少に加え保有長期化・車離れが続けば、日本市場は2040年代に300万台割れへ
- ◇人口/免許保有構造、消費者動向、地域特性など市場への影響要因を広範に分析
- ◇自動車市場縮小がもたらす国内関連産業への雇用/事業規模等への影響を分野別に分析
- ◇ロングヒットモデル/短命モデルの決定要因を詳細分析(2004~2007年投入モデル)
- ◇需要喚起を目指した買い替え期間短縮への製品/販売面での取り組みを紹介・提案
- ◇欧米/アジア主要各国の市場環境・日本車拡販継続に向けた競争焦点を調査・分析

【欧州、セグメント別モデル別CO₂排出量ランキング(上位10位以内、2006年5月)】(コフボ)

順位	メーカー	モデル	グレード	トランスミッション	排気量 (cc)	燃料形式	CO ₂ 排出量 (g/km)
1	トヨタ	Primo	A1.5VVT-i Hybrid	5速MT	1,500	ガソリン	101
2	ホンダ	Civic Hybrid	1.8i VTEC e	CVT	1,800	ガソリン	101
3	日産	Leaf	1.0EV 160 kWh R20	6速AT	1,300	電気	102
4	三菱	Mitsubishi i-MiEV	1.0EV 160 kWh R20	5速MT	1,000	電気	102
5	BMW	1 Series 116i	1.8i 16V	5速MT	1,800	ガソリン	121
6	日産	Leaf	1.0EV 160 kWh R20	5速MT	1,000	電気	121
7	日産	Leaf	1.0EV 160 kWh R20	5速MT	1,000	電気	121
8	日産	Leaf	1.0EV 160 kWh R20	5速MT	1,000	電気	121
9	日産	Leaf	1.0EV 160 kWh R20	5速MT	1,000	電気	121
10	日産	Leaf	1.0EV 160 kWh R20	5速MT	1,000	電気	121

国内市場縮小をカバーする日本車の海外主要市場における競争焦点を詳細分析

【ASEAN主要5ヵ国、国別自動車市場・保有構成・経済状況比較】

国	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
自動車販売台数(万台)	626,000	703,000	881,000	980,000	1,020,000	1,000,000	950,000
人口(百万人)	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8
人口増加率	1.7%	0.8%	1.0%	1.2%	1.0%	1.0%	1.7%
1人あたりGDP(米ドル)	1,000	1,200	1,500	1,800	2,000	2,200	2,500
名目GDP(10億米ドル)	200	240	280	320	350	380	420

◇アジア主要各国市場概要と日本車の競争力
 ASEAN：経済成長と人口増加を背景に異なる成長へ
 ASEAN 主要5ヵ国(タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ベトナム)の自動車市場は、2006年にフィリピン、ベトナム以外の4ヵ国で縮小したが、長期的には1997年以降の増産傾向による市場縮小以降は、概ね回復・拡大基調にある。また、経済成長と人口の増加、未だ低い自動車普及率を背景に、長期的にはASEAN全体の自動車市場は拡大の継続が予想される。

インフラ整備はセダンやハイブリッドなど乗用車市場が販売の中心であるが、ベトナムでは商用車が必要とされている。また、ASEAN各国に於ける自動車普及率は概して低く、最も高い水準にあるマレーシアで2006年に23.3人に1台であり、今後の経済成長による自動車販売拡大の余地が、各国に残されているといえる。

中でも、自動車市場拡大の可能性が高いのは、タイ、ベトナムと考えられる。タイは、2005年の自動車普及率が7人に1台とマレーシアの半分程度で人口は約3倍と、改善の余地がある自動車市場の成長力は高い。ベトナムは、未だモータリゼーションが始まっていない上に、2020年には人口が1億人を突破すると見込まれていることから、自動車

【ASEAN主要5ヵ国、国別自動車市場・保有構成・経済状況比較】

国	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
自動車販売台数(万台)	626,000	703,000	881,000	980,000	1,020,000	1,000,000	950,000
人口(百万人)	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8
人口増加率	1.7%	0.8%	1.0%	1.2%	1.0%	1.0%	1.7%
1人あたりGDP(米ドル)	1,000	1,200	1,500	1,800	2,000	2,200	2,500
名目GDP(10億米ドル)	200	240	280	320	350	380	420

【ASEAN主要5ヵ国、国別自動車市場・保有構成・経済状況比較】

国	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
自動車販売台数(万台)	626,000	703,000	881,000	980,000	1,020,000	1,000,000	950,000
人口(百万人)	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8
人口増加率	1.7%	0.8%	1.0%	1.2%	1.0%	1.0%	1.7%
1人あたりGDP(米ドル)	1,000	1,200	1,500	1,800	2,000	2,200	2,500
名目GDP(10億米ドル)	200	240	280	320	350	380	420

【ASEAN主要5ヵ国、国別自動車市場・保有構成・経済状況比較】

国	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
自動車販売台数(万台)	626,000	703,000	881,000	980,000	1,020,000	1,000,000	950,000
人口(百万人)	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8
人口増加率	1.7%	0.8%	1.0%	1.2%	1.0%	1.0%	1.7%
1人あたりGDP(米ドル)	1,000	1,200	1,500	1,800	2,000	2,200	2,500
名目GDP(10億米ドル)	200	240	280	320	350	380	420

【ASEAN主要5ヵ国、国別自動車市場・保有構成・経済状況比較】

国	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
自動車販売台数(万台)	626,000	703,000	881,000	980,000	1,020,000	1,000,000	950,000
人口(百万人)	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8	20.8
人口増加率	1.7%	0.8%	1.0%	1.2%	1.0%	1.0%	1.7%
1人あたりGDP(米ドル)	1,000	1,200	1,500	1,800	2,000	2,200	2,500
名目GDP(10億米ドル)	200	240	280	320	350	380	420

「第5章 海外依存の深まりと並行する国際事業リスク」より

申込方法

当調査報告書は書店では取り扱っておりません。お申し込み、お問い合わせは、申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送下さい。またE-mail (info@fourin.com) による受付も行っております。

世界自動車産業専門調査会社
株式会社 FOURIN
 (フォーイン)

〒464-0025 名古屋千種区桜が丘292 フォーインビル
 TEL：052-789-1101 FAX：052-789-1147
 http://www.fourin.jp E-mail：info@fourin.jp

申込書 人口減少日本の21世紀自動車市場研究

● 体裁・A4判/175頁 ● 2008年3月発刊 (HP) 価格 120,000円+税 (国内送料込み)

(株)フォーイン 行 **Fax: 0120-0000-73**

年 月 日

御社名 _____

御利用部署名 _____

〒 _____

御住所 (送付先) _____

TEL 番号 _____ FAX 番号 _____

E-mail address _____

(フリガナ) 御担当者氏名 _____ 御役職 _____

通信欄

我が国の合計特殊出生率の減少が長く下降停滞する中、21世紀の我が国はもはや少子高齢化への懸念を遙かに超えて、人口減少時代に突入していることが指摘されてしばらく経過します。少子高齢化社会の到来は、人口そのものが減少するという日本国家の現実が年金支給や健康保険受給へのバランス崩壊の危機を早くも招いているとともに、戦後、これまで我が国自動車産業の成長を国内販売の面で支えてきた日本自動車市場そのものが歴史的変動を受けるかもしれないとの不安が産業界・経済界有識者に広がっています。

FOURINの試算によれば、人口予測のみをベースに算出した場合では2070年代に日本の新車販売台数は300万台を下回ることになり、更に近年の保有年数の長期化や車離れの傾向が続くと想定すれば、2040年代にも300万台を下回る可能性があります。国内市場の縮小が更に進行した場合、輸出事業のみで国内収益を維持していくのは困難であり、中長期的に日本産業界全体における自動車産業の地位低下も予想されます。

緊急調査報告「人口減少日本の21世紀自動車市場研究」は、人口減少の想定スピードに伴う日本自動車市場規模を、免許保有数変動や自動車の保有年数などをベースに長期予測。また国民の購買力変化、地方から都市への人口移動、道路状況、燃料価格等、市場への各種影響要因などを交えて分析しています。また、国内新車市場の縮小が避けられない中、日本自動車産業が国内事業をいかに維持していくか、また自動車産業全体としていかに成長を継続していくかについて、分析・提案しています。

本案内書をご高覧の上、関係各部署とも御相談いただき、採用を賜りますようお願い申し上げます。

【日本、免許保有数と新車販売台数推移/予測】



